
春、新しい日々に向けて

神威 昂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春、新しい日々に向けて

【Nコード】

N1590L

【作者名】

神威 昴

【あらすじ】

学生時代のなんとなく思い付いた、お話です。

春って何か新しいことの始まりですよね。

私が今更ながらに思ったことは、少しずつ大人になるために進んでいる「学生」って最終的に何なのだろう？
と思ったこの学生時代。

学生でいる間は、大人たちから、ちゃんと勉強しときなさいだとか、いろいろうるさくてたまりません。

そんなことを思っていた私ですが、この間小学生の頃仲良くしていた担任の先生とメールのやり取りをしたときのことです。

その頃新米だった先生だったから今まで思わなかったことですが、新しい季節になり、新入社員が増え先生も「先輩」になるんだね。と思ったとき、思い付いたのです。

「新入生」は社会でも「新入社員」と名を変えてるんだなあーと。
在り来たりで、作者の馬鹿丸出しみたいに聞こえますが、深く突っ込まないでください…汗

つまり、学生の「勉強する」という机に向いて何かをするというのは、社会人の「デスクワーク」を意味しているのでは？

と考えたのです。

そう考えると、不思議と、すでに私たち学生は「未来」に向けて勉強していたのでは？

勉強の内容自体は、ある程度必要な知識を、求めているだけなのでは…？

そう考えると、今学校に行けなくて家に止まっている人も、家の中でもいいから「机に向かう」という行為が大切なんだと思ったのです。

もちろん、勉強もある程度しとかなないと社会においていかれますよ。

結論！

学校で勉強するのは、「する事自体」に必要性があるのです。

どんな状況の学生さんでもとりあえず机に向かって、何かをしよう！
これも一種の社会勉強の一環ですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1590/>

春、新しい日々に向けて

2011年1月25日23時34分発行